



お子さんの発達を支援されている皆様へ

地震による影響を受けられた皆様、ならびに感染症による影響を受けている皆様には心よりお見舞い申し上げます。5月末～7月中旬にかけては雨が多くなる時期ですね。すっきりとしない日が続きますが、日差しが降り注ぐ日が来るのを楽しみに、工夫しながら過ごせることを願っております。

～ 子ども達の可能性を見つけていくために ～

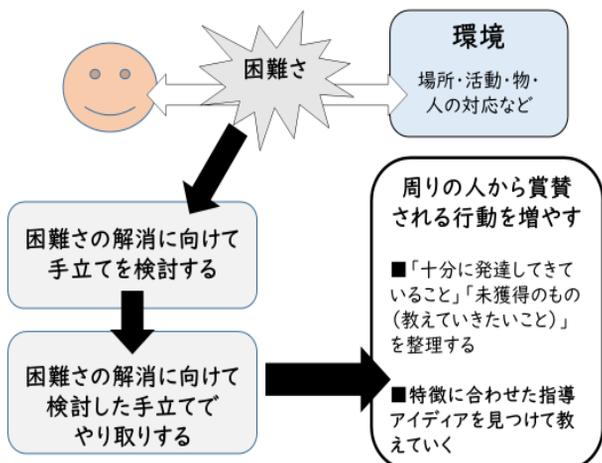
子ども達は環境との相互作用を通して発達していくと言われています。「今起きていることは、その子が今持っている様々な力を使って環境との相互作用をした結果」と考えることは、発達を支援する人が「困難さの解消への手立てを検討すること」に加えて、「十分に発達してきていることと未獲得のもの（教えていきたいこと）を整理すること」に役立つと考えています。

特に自閉スペクトラム症の特徴があるお子さんの場合、言葉や手本によるやり取りをしながら共有・共感していく環境では困難さが生じやすく、活動への参加の機会や様々な行動を身につける機会を逸しやすいことが多く見られています。

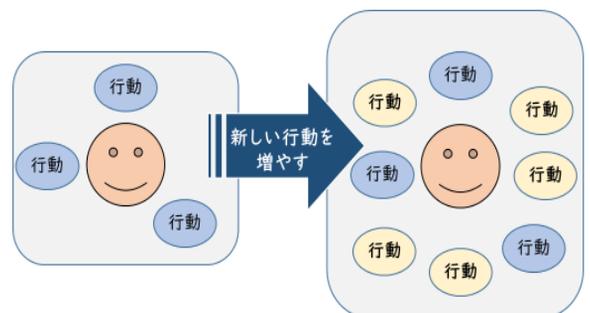
お子さん自身や周りの人に危険が及ぶ場合など困難さが強い場合には、まずは困難さを解消するための手立てを検討することが大事になります。そして、困難さの解消への道筋が見えてきたら、次は「十分に発達してきていること」と「未獲得のもの（教えていきたいこと）」を整理していきましょう。

取り組もうとしないもの、言葉や手本を中心とした関わりでは身につかなかったものについては、「どのようにしたら前向きに取り組むのか」「どのように教えたら覚えたり、身につくのか」、お子さんの特徴に合わせて指導アイデアを見つけていきます。周りの人から賞賛される行動が増えてくると、周りの人から問題とされる行動は減っていきます。周りから問題とされる行動に「対処」しながら、まだ見えていない行動を表現させる、新しい行動を増やしていくという発想で、「教えていく」ことが将来の可能性を増やすと考えています。

言葉や手本によるやり取りをしながら共有・共感していく環境では困難さが生じやすい場合



まだ見えていない行動を表現させる
新しい行動を増やしていく



周りの人から賞賛される行動が増えると問題行動は減っていく





社会性やコミュニケーションの発達に支援を必要とするお子さんの 療育・相談 説明会 (オンライン開催) を始めます!!



療育って
必要?



療育って何
をするの?



療育すると
どうなるの?

お子さんの発達を心配した時、相談に行った時など、「療育」という言葉に触れることが増えていることと思います。今のお子さんに療育が必要なのか、通うとしたらどこがいいのか・・・判断に迷うことも多いのではないのでしょうか。では、実際に療育とはどのようなお子さんを対象に、どのような目的でどのようなことをするのでしょうか。

この説明会では、「社会性やコミュニケーションの発達に支援を必要とするお子さんに大切なこと」について、これまでの臨床経験の下に具体的にご説明いたします。また、当センターの「療育・相談」ではどのようなお子さんを対象に、どのような取り組みをしているのか、についてもご紹介いたします。療育だけでなく、相談だけでもない「療育・相談」について、ご興味ありましたらぜひご参加ください。

【療育・相談 説明会 (オンライン開催) 7月～9月開催スケジュール】

日 時: ①7月29日(土) ②8月26日(土) ③9月30日(土) 全日程PM1:30～2:30開催

開催方法: Web会議ツール“ZOOM”を使用して開催します

対 象: 関東地方にお住まいの2歳～就学前のお子さんの保護者の方

定 員: 1回につき3家族まで(最少開催人数 1家族)

費 用: 無 料

申込方法: お電話にてお申込みをお願いします(参加方法をご案内いたします)
火曜～土曜(祝日を除く) 9:00～16:00 [03-3986-7060](tel:03-3986-7060)(直通)

申込締切: 各開催日ともに2日前の木曜日16:00まで



お問合せ・お申込みは下記までご連絡ください

電話受付時間 火曜～土曜 9:00～16:00

子ども療育相談センター直通 [03-3986-7060](tel:03-3986-7060)



【発行元・連絡先】

公益財団法人 明治安田こころの健康財団 子ども療育相談センター
〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10

発行日 2023年6月1日

わかたけ通信は
ホームページにも
掲載しています